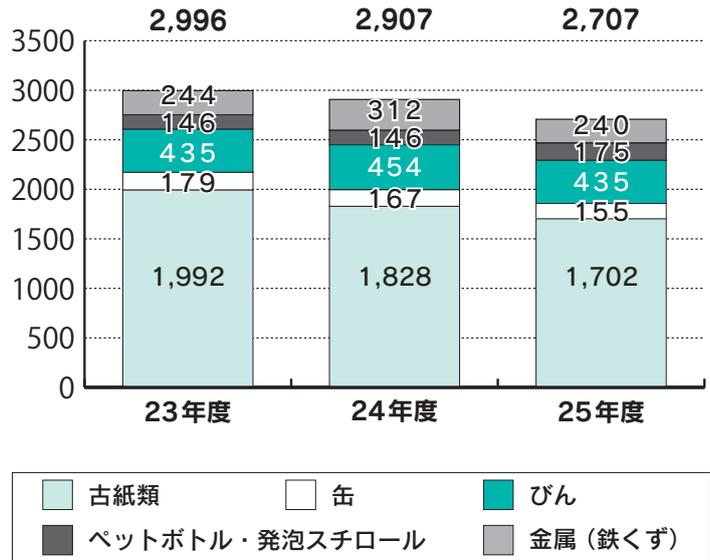


資源ごみの売却実績

【図2】と〈表2〉は資源ごみの売却量と売却金額の推移を表しています。24年度と比べてみると、25年度は売却量が200t（約6.9%）減少していますが、売却金額は460万円（約10.2%）増加しています。売却量が年々減少しているのに対して、売却金額に増減があるのは、引取価格を入札で決定しているため、市場取引価格により大きく変動します。

【図2】 資源ごみの売却量の推移（単位：t）



〈表2〉 資源ごみの売却金額の推移（単位：万円）

| | 古紙類 | 缶 | びん | ペットボトル・発泡スチロール | 金属類(鉄くずなど) | 合計 |
|--------|-------|-------|----|----------------|------------|-------|
| 平成23年度 | 2,223 | 1,282 | 47 | 803 | 1,000 | 5,355 |
| 平成24年度 | 1,807 | 992 | 42 | 655 | 1,017 | 4,513 |
| 平成25年度 | 1,846 | 1,162 | 38 | 929 | 998 | 4,973 |

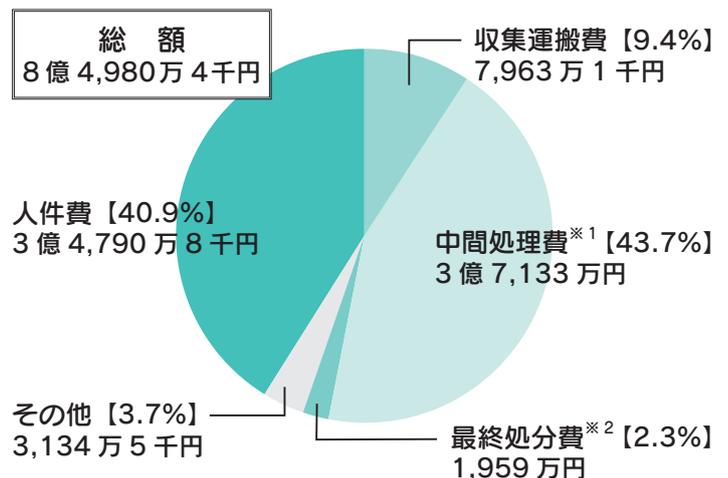
ごみ処理経費

平成24年度のごみ処理経費は約8億4,980万4千円で、内訳は【図3】のとおりです。これは1世帯当たりで約29,900円、一人当たりでは約13,100円、年間がかかったこととなります。また、1tのごみを処理するのに約31,200円かかったこととなります。

施設整備のほか、収集、焼却、灰の処理、埋め立てなど、ごみを適正に処理するための維持管理費が必要となります。

なお、平成24年度の間接処理費は、老朽化した焼却施設を安全に稼働させるための改修工事費に、多くの費用がかかりました。

【図3】 ごみ処理費の内訳（平成24年度）



※1 中間処理費…焼却・焼却灰処理・改修工事費など

※2 最終処分費…埋立・不燃ごみ処理委託など

| | |
|----------|----------|
| 世帯数 | 28,465世帯 |
| 人口 | 65,275人 |
| 年間ごみの排出量 | 27,271 t |

（平成25年3月31日現在）